学習内容報告書 フォーマット

学校名	串間市立本城小学校
授業者	図師　宏美　　橋谷　敏治

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

わたしのはっけん、生きものとなかよし

1-2.　学年

１・２年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語科、生活科

1-4.　単元の概要

　イルカランドにいる海の生き物と触れ合ったり、観察したりすることを通して、感じたことや気付いたことを記録し、生き物への関心と愛着を深める。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

　子どもを取り巻く自然環境や社会の変化によって、日常生活のなかで自然や生命と触れ合い、かかわりあう機会はますます少なくなってきている。そこで、国語科の「わたしのはっけん」と生活科「生き物となかよし」の学習の関連を図り、海の生き物に興味・関心をもち観察して感じたことを言葉にして書いて伝える喜びや楽しさを感じさせたいと思い、この単元を設定した。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

【国語科】

　身の回りの動物を観察して、気付いたことを文章に書くことができる。

【生活科】

　生き物との触れ合いを通して、生き物への関心と愛着を深める。

1-7.　単元の展開（全１２時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	1　学習の見通しを立てる。 ○　生き物に会いにいく。 ○　「はっけんメモ」を書く。 ○　文章を書く。	○　国語科と生活科を関連付けた学習であることを伝え、学習の見通しをもたせる。 ○　イルカランドにどんな海の生き物がいるか考えさせ、興味・関心を高める。
9	2　「はっけんメモ」の書き方を知る。 ○　メモに書く項目、観察の観点を確認する。 ○　メモを書く練習をする。 3　生き物に会いに行く。 ○　生き物と触れ合う。 4　気付いたことを「はっけんメモ」に書く。 ○　見たもの、日付、見た場所を書く。 ○　大きさ、色、形、触るとどう感じるかなどを書く。 5　観察記録分を書く。 ○　「はっけんメモ」を見ながら、気付いたことや思ったことを書く。	○　メモの例を見ながら、どのようなことをメモに書けばよいか確認する。 ○　子どもたちがかかわっている様子を写真で記録し、教室に掲示して興味・関心を高める。 ○　特徴をとらえる視点を与え、気付きを促す。 ○　子どもの気づきを大切にし、問い返しをしながら生き物の特徴に目が向くようにする。 ○　観察したものの様子が伝わるように、大きさや色、形、動きなどについて確認する。
2	6　書いた記録分を読み、感想を交流し合う。 ○　記録分を読み合い、生き物とのかかわりを振り返る。	○　記録文や写真を見ながら、生き物は温かくてかわいい、動いているなど「命」について感じることができるようにする。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　１２　時間中の　４、５、６、７　時間目

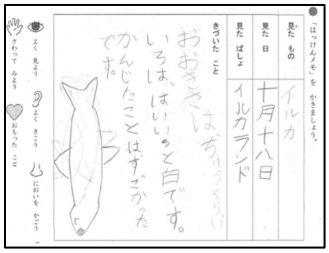
※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/　単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

○　海の生き物に関心をもち、進んで生き物に触れたり、遊んだりしようとする。

○　生き物を見たり観察したりして、気付いたことを「はっけんメモ」に書くことができる。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1　本時の活動について確認する。 ○　活動の流れ ○　観察の仕方 ○　注意点	○　活動の流れや注意点を確認し、主体的に活動できるよう促す。
2　生き物と触れ合う。 ○　イルカのショー ○　海の生き物触れ合いコーナー 	○　子どもたちがかかわっている様子を写真で記録し、教室に掲示して興味・関心を高める。 ○　特徴をとらえる視点を与え、気付きを促す。 ○　子どもの気づきを大切にし、問い返しをしながら生き物の特徴に目が向くようにする。 【評価】 ○　生き物に触ったり、観察したりして親しく接しようとしている。（活動の様子）
3　「はっけんメモ」を書く。 ○　見たもの ○　気付いたこと  	○　大きさ、色、形や触るとどう感じるかなどを問いながら、「はっけんメモ」に記入させる。 【評価】 ○　観察して気付いたことを「はっけんメモ」に記録している。（ワークシート）
4　本時の活動を振り返る。 ○　感想の交流	○　感想を発表し合い、生き物への愛着を深める。

3.　今回の活動の自己評価

○　様々な海の生き物を観察するだけでなく、実際に触れることで、生き物への関心をもち親しみを抱くことができた。 ○　国語科と生活科を関連させることにより、指導の効果を高めることができた。

4.　今後の課題

○　次年度は予算がないため、活動費がかからない活動を考えていく必要がある。 ○　学習活動の幅を広げるために、様々な地域素材を探していく必要がある。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

　　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

　　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。